

## 令和 6 年度 門真市立総合体育館指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和 5 年度

### 施設のサービス水準の視点コメント

メインアリーナ床の損傷について、日常点検と応急手当てをこまめに実施し、事故を防止しつつ、施設を安全に運営することができていたと認識している。  
また、新型コロナウイルス感染症対策などにより、運動機会が減っていた市民の運動再開を促すキャンペーンを実施するなど。施設の魅力を高める自主事業についても、継続的に実施できていることを評価する。

### 収支状況 コメント

収入面については、新型コロナウイルス感染症の影響が前年度に比べれば少ないものの、でているため、予算額で設定していた目標には届かなかった。  
支出面については、最低賃金上昇に伴う人件費の高騰や光熱水費高騰が影響し、厳しい運営を行っている。  
そのような中でも、様々な工夫を実施し、わずかではあるが収支は黒字となっていることを評価する。

### 市による総合評価 コメント

アンケート調査の結果からも、昨年に引き続き、総合体育館に対する施設利用者満足度は高い水準を維持できており、市が期待する施設運営が概ね実施できているものと判断する。  
稼働率の低い部屋の利用について、宿題やつつけタイムを実施するなど、体育館利用、運動につながる動きとして引き続きの実施を期待するとともに、これ以外にも施設の設置目的に寄与する事業を積極的に展開されることを望む。  
メインアリーナ床の損傷については、引き続き、早急な改善ができるよう、市への協力を依頼するとともに、同グループのネットワークを駆使した情報収集などを通じて、引き続き、問題解決に向けた一層の協力を期待する。  
近年、若年層の市民が施設内や施設周辺でたむろし、たばこなどの問題行動を起こしている事象について、施設管理者は一丸となり、他の利用者が安全に気持ちよく施設を利用できるよう、声掛け等を実施し、警察とも連携しながら対応を行っている。このことについて、引き続き市としても、施設管理者と協力して対策を検討し、毅然とした対応を実施していく。

### 総合評価

B

#### 総合評価区分凡例

- A： 協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B： 概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C： 協定事項等の水準以下であった